



そうわ通信 5月号

【発行日】
令和4年5月6日
【発行者】
露木 光人

«学校教育目標»豊かな心をもち 自ら考え たくましく生きる子の育成
～学び合い 高め合う なかまづくり～

校内研究の推進 ～よりよい授業をめざして～

6年生の授業参観をとおして授業スタンダードを確認【令和4年4月28日】

令和4年度の校内研究のテーマを「質の高い授業の創造～児童一人一人が自ら問い合わせを見出し、学び合いをとおして深める授業～」と設定し、日々の授業は始まっています。

これまでと同様に、授業力の向上を目指し、学級担任や教科担任は常にアップレートに心掛け、テーマの実現に向け奮闘しているところですが、新たな「チーム相和」は順調にスタートを切っていると感じます。

さて、新たな取組として年度当初に授業のあり方(スタンダード)を確認する場を設けました。6年生が本校の最終学年として、授業の姿を公開し、全職員で共有するという形を取りました。

今年度の共有すべき点で一番大きいものは、「問い合わせを見出す」ことになります。詳細は、各学級の通信でお伝えできると思いますが、児童自らが主体的に学ぶとはどういうことなのかを、6年生の姿をとおして再確認した次第です。

他にも、授業の始めと終わりのあいさつの統一、机上に置くものや発言時のルールなど、6年間の積み上げを意識した指導についても共有を図っています。これらについては、今後実施される学校行事にもつながることであり、学んだことのアウトプットの場としての学校行事となるよう努めています。

加えて、基礎的・基本的知識・技能の習得に若干の課題が見られることについては、朝のチャレンジタイムでタブレット(ドリルパーク)を利用した取組を1年生を除く全学年でスタートしています。今後はスピード感をもって検証を行い、よい実効性のある取組となるよう児童とともに工夫・改善をしていきたいと思います。家庭学習の充実についても、現在検討中ですが、保護者の方々のご支援をお願いしたいと思います。



悩みを共有する6年生の様子



自分の考えを友達と共有する姿



教職員も学び方スタンダードを確認中

「子育てアラカルト⑩ ～自信がないとだめなの？～」

学校では、学級ごとに「学級経営案」を作成したり、研究授業では「学習指導案」を作成したりして、“子供たちの実態把握”と“付けさせたい力”的ギャップを埋めるための具体的方策を検討しています。いずれの案においても、「子供たちは自信がもてないため…」という表記が見られることがあります。具体としては、「自信がもてないので手が挙がらない」「自信がもてないので挑戦することが難しい」という感じです。

しかし、私としては、最初から自信をもっていることはありえないと考えます。そもそも自信というのは、成功体験の積み重ねによって得られるものであって、挑戦して成功と失敗を繰り返しながら、いかにすればうまくいくのかを考えていくことで身に付くのだと思います。だからこそ、以前のアラカルト⑤で記載しましたが、「失敗は尊い」のではないかでしょうか。

本校は、自己肯定感を有している子供たちの割合が高いことが一つの特長です。それは、子供たちに挑戦させる機会を数多く設定し、教職員は成功を求めて一方的な指導をするのではなく、試行錯誤しながら最後には「やってよかった」という思いで終わるような指導をしているからだと思います。

4月から、教職員の顔ぶれは若干変わっていますが、相和小学校の指導の文化は、「継続」「徹底」していきます。とはいっても、自分の子育てでは数多く悩みましたが…



PTA総会・懇談会

【令和4年4月15日】

ご多用のところ、PTA総会や授業参観、そして懇談会に多くの保護者のご出席をいただき、無事終了することができました。保護者の皆様の学校への期待度は高く、改めて身の引き締まる思いをもった次第です。

さて、ここ数年のPTA諸活動はなかなか思うように進まず、各専門委員会の役員の方々には歯がゆい思いをもたせてしまいました。今年度は、感染対策を講じつつ、徐々にできることが増えればと思います。今年のPTAテーマは会長さんから提案がされたとおり、「共挑(きょうちよう)」です。子供たち、保護者の皆様、そして教職員が一丸となり、共に挑戦していく一年間にしていきましょう。

お米とメダカの引継ぎ【4月20日】

毎年5年生は、総合的な学習の時間で米作りを学び、理科の学習の関連でメダカを飼育しています。過日、6年生が米(サブリ米と呼んでいます)とメダカを5年生に引き渡しました。

本校の学びは、本当に積み上げられていると感じることが数多くあります。今回の引継ぎも、まさにその一場面でした。

5年生は、とても大切そうに受け取り、これから学びに対して、知的好奇心がさらに増えたことでしょう。



相和っ子班清掃始まる【4月25日～】

昨年度は、コロナに係る宣言等により、できたりできなかつたりした縦割り班清掃ですが、今年度は無事スタートすることができました。早速、5・6年生が丁寧に下級生に指導する様子が見受けられ、相和っ子の伝統は受け継がれています。清掃は、損得なくその場所をただ夢中にきれいにするという気持ちを育てていきたいと考えています。その理念は、「自問清掃」に基づきます。自問清掃については、今後のそうわ通信にて紹介させていただきます。



【お知らせ】「小・中学校の教科書展示会」が開催されます

教科書展示会は、昭和23年の検定教科書制度の実施に伴い、教科書の適正な採択に役立たせるため、また、教育関係者の教科書研究の便宜と教科書見本の効率的運用を図るため「教科書の発行に関する臨時措置法」により設けられた制度です。

神奈川県教育委員会では、次により小・中学校の教科書を展示し、一般に公開しています。

*期間及び時間 令和4年6月10日(金)～令和4年6月29日(水)

午前9時～午後5時 <ただし、土・日曜日を除く>

*展示会場 足柄上合同庁舎 本館5階 東側大会議室B

小田原合同庁舎 2階 2FG会議室

*展示物 小学校用教科書 中学校用教科書 ほか

全国学力・学習状況調査

【令和4年4月19日】

今年度も、小学校では6年生を対象に調査が実施されました。今回は、国語と算数だけではなく理科も加え、質問紙も併せると、午前中いっぱいを使って行われたので、さすがに9名の6年生たちは終わったときには大きく息をついていました。

さて、即日解(回)答の状況を確認し、成果と課題を整理しました。その内容を教職員間で共有し、各学年の指導にスピード感をもっていかしていきます。特に6年生には分析の速報版を配付し、日頃の学び方に反映していくことになります。

改めて、「学ぶ」ということは日常生活と関連付けて知識・技能を再構築していくことであると実感しています。

新型コロナウイルス感染症による 小学校休業等対応助成金・支援金

新型コロナウイルス感染症の影響による小学校等の臨時休業等に伴い、子供の世話をするために仕事ができなくなった保護者を支援するため、厚労省及び都道府県労働局が助成金、厚労省は支援金も支給する制度を設けています。

また、子供の世話をするために必要な有給休暇(年次有給休暇を除く)を取得させた事業主に対して、助成金を支給する制度も設けられています。

詳細については、次の厚生労働省ホームページでご確認ください。

*小学校休業等対応助成金

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunit/suite/bunya/koyou/roudou/koyou/kyufukin/pageL07_00002.html

*小学校休業等対応支援金

(委託を受けて個人で仕事をする方向け)

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_1202.html

*公式LINEチャットボット

<https://lin.ee/qZZIxWA>

